

モニタリング調査結果

種名 : アマナ

調査者 : NPO法人境川の斜面緑地を守る会

調査地 : 古淵

調査期間	気づいたこと
2018年3月 ~2018年4月	河川工事にともなって移植した斜面下の生育地では、葉は確認できるものの、昨年に続き開花しなかった。斜面上の生育地では25個の開花があり、昨年よりさらに増加している。生育範囲が縦横それぞれ50cmほど広がり、2.5m × 2mの範囲に密生している。
2019年3月 ~2019年4月	斜面下のB地区では今年も開花しなかったが、除草を徹底したためか葉の数は昨年より増えた。斜面上のA地区では26個の開花があり昨年と同程度。今年は開花時期が早くソメイヨシノの開花時期と同じ日がピークだった。生育範囲がさらに縦・横50cm広がり、3m × 2.5mとなった。
2020年3月 ~2020年4月	斜面下のB地区では今年も開花しなかったが、除草をしている。斜面上のA地区では40個の開花があり昨年より増加した。葉に赤いサビ病が見られた。横3m × 縦2.5mの範囲に密集して生育している。
2021年3月 ~2021年4月	斜面下のB地区では2月に葉が出始めたが今年も開花しなかった。斜面上のA地区では出てきた葉は非常に少なく17個の開花しかなかった。横3m × 縦2.5mの範囲は変わらない。葉が出る時期に雨が降らず、土が乾燥していて、花が咲いてから急に暖かくなり、花の期間が短く、すぐ種を付けた。
2022年3月 ~2022年4月	斜面下のB地区では2月に葉が出始めたが今年も開花しなかった。斜面上のA地区では出てきた葉は非常に少なかった。3/24花が13輪（去年は17輪）しか咲かなかった。生育範囲は横3m縦2.5m変わらない。葉が出るときに雨が降らず、花が咲きはじめてから急に暖かくなり、花の期間が短かった。